

リニア中央新幹線問題

不安がいっぱい ナノニ^{。。}

疑問

このまま“推進”でいいのでしょうか？



JR 東海の葛西会長が原発再稼働としきりに言う。新幹線の3倍も電気を使うリニアは結局原発頼みでは？と質問した人に、JR担当者は「自分は葛西ではない」と答えた。何という人を食った態度だろう。

(中津川市・男性)

目に見えず、音もせず臭いもない「電磁波」の人体への影響は、本当に大丈夫なのか。JRは、「心配ない」と言うだけで、住民の不安に真摯に向き合う姿勢が、感じられません。

(恵那市・女性)

路線をトンネル式に変えて「美濃焼」の歴史遺産を守ってほしいという市ぐるみの住民の願いを、JRは結局「聞くつもりはない」と言うのか。時間をかけてまとめて向き合ってほしい。

(可児市・男性)

リニア中央新幹線は「この秋にも着工へ」とJR 東海が急ぎに急いでいます。けれど、騒音や振動、磁界（電磁波）や磁気圧波、土壤、地下水、動植物と生態系、文化財等への悪影響など、どうなるのでしょうか。長期の工事期間中に走り回る工事トラックの暮らしへの影響は？ばく大な量の残土が何をもたらすか？その残土にウラン成分が含まれていたら？中間駅ができる「人が集まる」としても、日照等を奪われる地元の暮らしや生業はどうなる？

…たくさんの問題が指摘されています。けれどJR 東海からは、まともな回答がありません。このまま「着工ありき」を許していいのでしょうか。

●日本共産党の詳しい見解はホームページで

日本共産党岐阜 検索

日本共産党

“推進”の知事や市長でさえ…

JR の「環境影響評価準備書」に対し、地元市長らの意見をふまえ県知事も「意見書」を提出しました。リニアそのものは「歓迎・推進」の立場ですから、JRへの「迫り方」も強くはありません。それでも「生活環境への懸念」など 58 項目の意見を述べ「地域住民に丁寧に説明を」と求めざるをえませんでした。それほどにJR 東海の「説明」は住民の納得から程遠いものだ、ということが実証されています。

県民ネット(準)が国会請願署名スタート!! ご一緒に声をあげましょう



リニアの予定沿線 7 市町の有志の方々で「リニアを考える岐阜県民ネットワーク（準）」が発足し、私も馳せ参りました。安静な暮らしや環境をどう守っていくのか一緒に考え、JR 東海に「住民の声を聞け」と迫っていこうという運動で、国会請願署名も新たにスタートさせることになりました（署名用紙はこの裏面にあります）。署名を国会へ届けるときは、私も一緒に上京します。暮らしと地域のために、党派や立場の違いを超えて力をあわせましょう。

●日本共産党中央津川市委員会副委員長

木下りつ子

私も力を
あわせます

